

**東芝テック株式会社**

証券コード: 6588

このたびは2015年3月期の当社決算発表が遅れ、株主の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

代表取締役社長

**池田隆之**

**ごあいさつ**

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。ここに、2014年度(第90期)における当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2015年7月

**事業の概況**

当連結会計年度の世界経済は地域格差は見られたものの総じて緩やかな回復基調に向かいました。当社関連市場においては、オフィス向け複合機の需要は海外を中心に堅調に推移しました。一方、リテール事業の主力市場である流通小売業は、国内では消費税率引き上げに伴う消費減速の影響を受けるとともに、海外では特定地域における政治、治安に対する不透明感から新規投資が抑制されるなど厳しい事業環境にありました。

このような状況のもと、当社はグループ一丸となり計画の実現に向け諸施策を講じてまいりました。2014年度の連結売上高については、海外プリンティング事業や国内事業が堅調に推移したことに加え、為替の影響により、前期比5%増の5,252億74百万円と過去最高を達成しました。

一方、損益面では、2012年に買収した海外リテール事業の中核であるToshiba Global Commerce Solutions社において、大手顧客向け物件の売上が翌期にずれ込んだことや買収後の統合にかかる一時費用が想定以上にふくらんだことで、営業利益は前期比19%減の186億97百万円となりました。また、為替差損などで営業外費用が大きく増加したことや法人税率引き下げに伴う繰延税金資産取り崩しなどで税金費用が大きく増加したことで、誠に遺憾ながら、3億

34百万円の当期純損失を計上するに至りました。当初予想を大きく下回る結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

**次期の見通し**

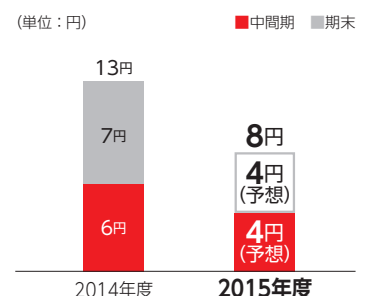
2015年度の世界経済は、米国は引き続き景気が回復、欧州は一部で明るい兆しが見られるものの低成長が続き、アジアは総じて堅調に推移するものと予想されます。日本経済は個人消費の低迷に持ち直しの動きが見られ、緩やかに景気回復するものと予想されます。オフィス向け複合機の需要は引き続き堅調に推移することが見込まれますが、POSシステムはオムニチャネル化がさらに進展し、顧客の投資対象がH/W中心からS/Wへ移行する等、大きな変化が起きることが予想されます。

このような事業環境変化にいち早く対応するため、当社は2015年4月1日より、従来の地域別組織から商品サービス別組織へと体制を再編いたしました。これにより、今後はリテールソリューション事業、プリンティングソリューション事業を中心とする事業運営体制の下で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発・投入、地域に即した営業・マーケティングの展開、販売網の最適化等の施策を展開し、事業規模の拡大と収益体質の強化の実現を目指します。特に、海外リテール事業の収益性改善を喫緊課題と位置付け、構造改革を含む抜本的施策を実現し、早期の業績回復に不退転の決意で臨む所存でございます。

なお、2015年度通期の連結業績予想は、上記方針等をふまえたのとおり見込んでいます。

株主の皆様への引き続きのご支援をお願い申し上げます。

**▶ 1株当たり配当金の推移**



**▶▶▶ 2014年度の連結業績**

売上高 **5,253**億円 (前期比5%増)  
営業利益 **187**億円 (前期比19%減)  
当期純利益\* **△ 3**億円

**2015年度通期の予想**

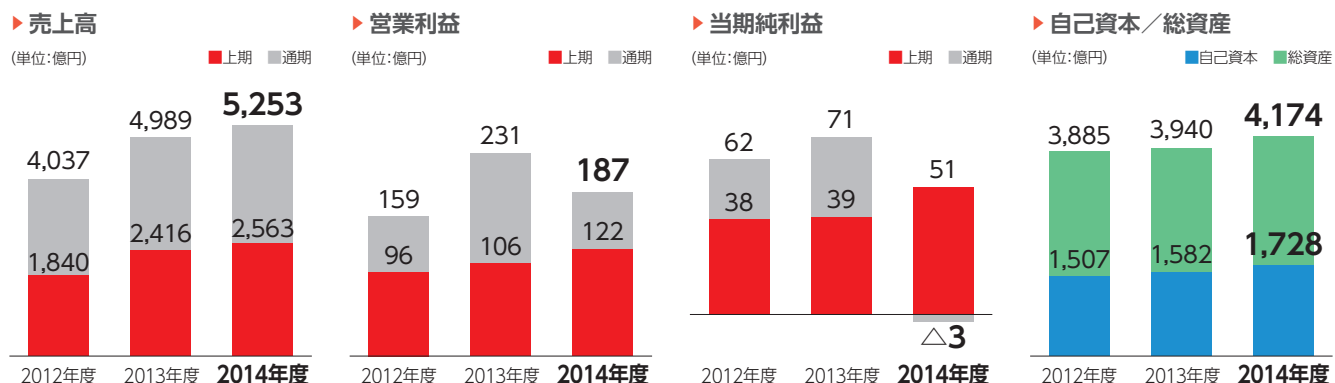
**5,600**億円 (前期比7%増)  
**250**億円 (前期比34%増)  
**70**億円

\*連結財務諸表に関する会計基準の改正により、2016年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更します。

\*2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を任意適用することを決定いたしました。

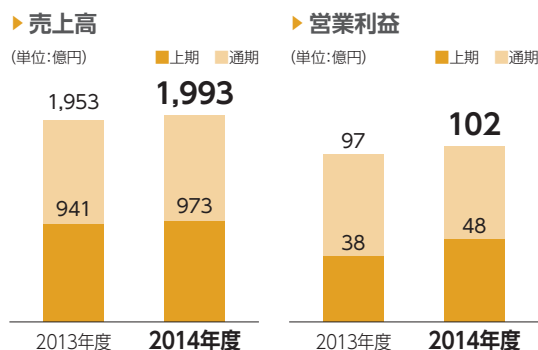
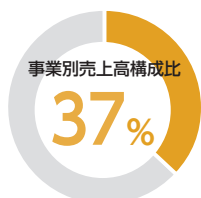
## 連結業績ハイライト

**POINT** 売上高は為替の影響もあり堅調に推移したことから、過去最高値を達成するも、海外リテールソリューション事業の粗利低下・販管費増加の影響及び営業外費用、税金費用等の増加により、当期純損失を計上。



## 各事業の概況

### システムソリューション事業



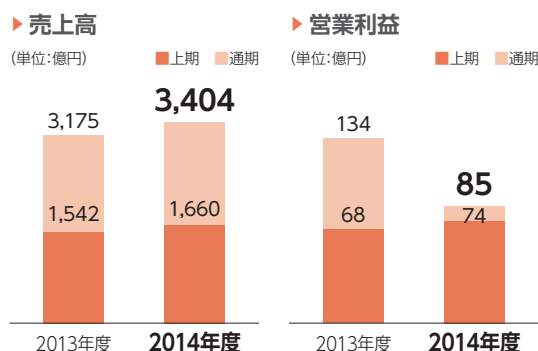
#### 事業の内容

国内市場向けPOSシステム、複合機、オートIDシステム\*及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等

#### 業績概要

- **リテールソリューション事業**  
ショッピングセンター向けPOSシステムが伸長したことなどから、売上が拡大。
- **オフィスソリューション事業**  
カラー複合機の販売台数が増加したことなどから、売上が拡大。
- **オートID事業**  
流通小売業向け小型ラベルプリンタの売上が伸長し、売上が拡大。

### グローバルソリューション事業



#### 事業の内容

海外市場向け複合機、POSシステム、オートIDシステム\*、プリンタ及びそのソリューション関連商品並びにインクジェットヘッドの開発・製造・販売・保守サービス等

#### 業績概要

- **リテールソリューション事業**  
戦略的新商品の拡販等の施策や為替の影響などにより、売上は拡大するも、粗利減、一時費用の増加により、営業利益は減少。
- **プリンティングソリューション事業**  
当社独自の商品・顧客網を活用した差異化による販売活動の推進、戦略的新商品の拡販、為替の影響などにより、複合機及びオートIDシステム\*が伸長したことから、売上・営業利益とも拡大。
- **インクジェット事業**  
主要顧客向け販売が増加したことから、売上が拡大。

\*オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

# ●東芝テックカレンダー

## 下期のトピックス

月の区分は原則としてトピックスの発表月です。



リテール事業



プリンティング事業



AI/IJ事業



企業情報

2014年  
**10月**  
OCT



### オフィスや接客カウンターにも置けるコンパクトなラベルプリンタ「B-LV4D」を発売

オフィスや接客カウンターなどにも置けるコンパクトな感熱式ラベルプリンタで、小さいながらも最速152.4mm/秒の高速印字が可能。運輸・物流業での荷札ラベル発行だけでなく、流通・サービス業での棚札、チケット発行、製造業での分散発行、さらには調剤薬局でのお薬手帳用ラベル発行用途など、さまざまな業種、業態に対応。



ラベルプリンタ「B-LV4D」



### 電子レシートシステム「スマートレシート®」をサービス開始

PICK UP ①

2014年  
**11月**  
NOV



### ハンディタイプのRFIDリーダー「UF-2200シリーズ」を発売

PICK UP ②



### 「画像処理式縦型スキャナを活用したPOSシステムの開発・製品化」が、「平成26年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞

PICK UP ③

2015年  
**1月**  
JAN



### 「消費税免税制度」対応POSシステム・電子レジスター用ソフトウェアの発売



外国人旅行者向けの消費税免税制度に対応したPOSシステム及び電子レジスター用ソフトウェアを順次発売。

免税店ではこれらの商品を利用することにより、消耗品、一般物品を考慮した免税販売が可能になり、手続きに必要な書類の作成や納税時の事務処理等を効率化。

2014年10月1日より、外国人旅行者の誘客を目的とした政府の取り組みの一環として消費税免税対象枠が消耗品にも拡大されました。今後も外国人旅行者の来日増加が見込まれることから、当社では外国人旅行者が利用する観光地の特産品店、日本製品に対する購買意欲が高まっている量販店・ドラッグストア・専門店における、免税に関わる業務をサポートします。

2015年  
**3月**  
MAR



### 組織変更について

CLOSE UP

PICK UP ①



●スマートレシートとは？  
通常は紙として提供される買い上げ商品の明細レシートを電子化し、センター（=電子レシートセンター）がデータとして預かり、買い物客が自分のスマートフォンですぐにレシート内容を確認することができる仕組みです。

PICK UP ②



左：RFIDハンドリーダー「UF-2200」  
右：スマートデバイスを取り付けた時

PICK UP ③



画像処理式縦型スキャナ「IS-910T」

## 電子レシートシステム「スマートレシート®」のサービス導入を拡充

当社は電子レシートシステム「スマートレシート®」のサービスを2014年10月31日より開始しました。本サービスの第1号ユーザーは、生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合(コープ東北)会員のみやぎ生活協同組合です。

また、コープ東北は、みやぎ生協におけるスマートレシートの好評を受け、2015年3月19日から、岩手、山形、福島の生活協同組合でも同サービスを開始しました。新たな導入ユーザーはコープ東北会員のいわて生活協同組合、生活協同組合共立社、生活協同組合コープふくしまです。

コープ東北は、スマートレシートの利用可能地域を拡大することで、既存組合員の利便性の向上とともに新たな組合員の参加促進を実現します。

### ●スマートレシートを活用するメリット

#### ●お店にとってのメリット

##### ●お客様満足度アップ

利便性の高いサービスで他店との差別化がはかれる。

##### ●紙レシートの費用を軽減

会員数が増えるほど、レシート用紙が少なくなる。

##### ●エコイメージのPR

ペーパーレス、エネルギー削減などの好印象。

##### ●販促に活用可能

スマートフォン向けのO2OPromoーションを効率的に実施。

#### ●買い物客にとってのメリット

##### ●いつでもレシートを確認

レシートデータはクラウドが預かり。だからお財布スッキリ。

##### ●便利なデジタル機能

お店への要望も伝えやすく、また家計簿の集計もラクラク。

##### ●お店やメーカーからの

お得情報ゲット  
キャンペーンなどのうれしい特典が受け取れる。

##### ●レシート文字が大きく

スマートフォンだから見たい内容を大きく拡大。シニアのお客様もうれしい。

### ●スマートレシートの使い方

- 1 アプリをダウンロードして会員登録
- 2 レジにてバーコードを提示
- 3 いつも通りお支払い
- 4 スマホでレシート確認

## ハンディタイプのRFIDリーダー「UF-2200シリーズ」を発売 ～スマートデバイスとの接続でRFIDの世界を広げます～

当社は流通・アパレル業などで、RFタグが付いた商品のRFID読み取りによる店頭業務、在庫管理、貸出/返却管理などにお使いいただける、UHF帯RFIDハンドリーダを発売しました。

本製品は当社初のハンディタイプのRFIDリーダーで、いままでのRFIDハンディリーダーのイメージを刷新するデザインです。さらには業務で利用しているタブレットやスマートフォンにRFID機能を追加することができ、さまざまな場面で活躍するRFIDソリューションが低コストで導入できます。

また、指向性のある高性能アンテナの搭載により、複数のタグから特定のタグだけを迅速に探索し、倉庫などでの探索でもピンポイントで対象を見つけ出すことができます。加えて、遠くのタグを読み取る高い読み取り性能が、業務効率を向上させます。



### ●「UF-2200」の特長

1. デザイン性
2. 指向性のある高性能アンテナ搭載
3. スマートデバイスとの連動
4. ソフト開発の容易性
5. RFID導入パッケージライトの利用

## 「画像処理式縦型スキャナを活用したPOSシステムの開発・製品化」が 「平成26年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞

本受賞は、当社が開発・製品化した画像処理式縦型スキャナを活用したPOSシステムが、未包装の果物や野菜の種類を色と模様で識別することでトレー、ラップ、バーコードラベルが不要となり、省資源化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献する点が評価されたことによるものです。

環境省では事業者に対し商品のノントレー化を推進しており、このニーズに応えるべく当社独自の画像認識技術を活用したスキャナを開発しました。

当社が同表彰を受賞するのは2011年度の「用紙を再利用する複合機システム」に続き2回目となります。

今後も環境に貢献するソリューションを提供することで、持続可能な循環型社会形成へ貢献していきます。

**店舗メリット**  
レジ操作が簡単に

野菜種類で検索するため、品名が読めなくても登録作業ができます。

**お客様メリット**  
買い物が変わる

バーコードやレジレコーダラベルが不要で、レジ待ち時間、カートリターン待ち時間も短縮されます。

**店舗メリット**  
売り場が変わる

新たにできた商品をそのまま撮影、お客様がすぐわかる美しいディスプレイ。

**環境対応**  
パッケージレスで環境にやさしい

パッケージやレジレコーダラベルが不要。ゴミを出さず、地球にやさしい。

CLOSE UP

## 組織変更について

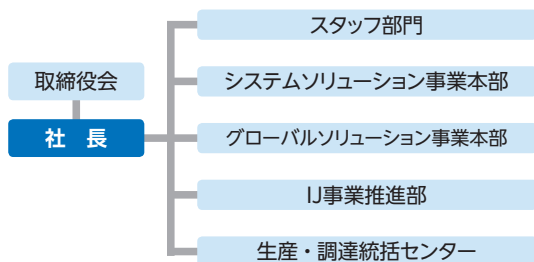
当社は「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指し、お客様の視点に立ったモノ創りを追求してまいりました。一方で当社を取り巻く事業環境はめまぐるしく変化し続けております。当社は、この事業環境をリードし、あらゆるお客様に一步先のソリューションをご活用いただくため、地域別組織から商品サービス別組織へと体制を2015年4月1

日に再編しました。

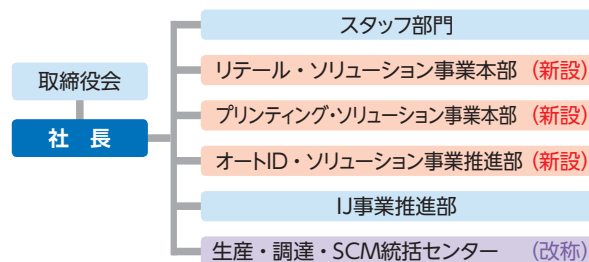
新たな組織体制のもと、これまで各事業が国内外で蓄積してきたビジネスリソースやノウハウを組み合わせ、従来以上に高品質な商品やサービスを国内はもとよりグローバルにご提案、ご提供してまいります。

主な組織変更は以下のとおりです。

～2015年3月31日



2015年4月1日～



1. **リテール・ソリューション事業本部**を新設し、国内外のリテール・ソリューション事業を統合する。  
(リテール・ソリューション：POS関連事業)
2. **プリンティング・ソリューション事業本部**を新設し、国内外のオフィス／プリンティング・ソリューション事業を統合する。  
(プリンティング・ソリューション：MFP関連事業)
3. **オートID・ソリューション事業推進部**を新設し、国内外のオートID・ソリューション事業を統合する。  
(オートID・ソリューション：バーコードプリンタ関連事業)
4. 生産・調達統括センターにSCM機能を編入し、生産・調達・SCM統括センターに改称する。

CLOSE UP

## 海外事業 — オムニチャネルソリューションによる売上拡大 —

当社は多様化する市場の変化にいち早く対応しお客様のご要望に対応していくため、グローバル市場でのオムニチャネルソリューションの提供に注力しております。当社の海外リテールソリューション子会社であるToshiba Global Commerce Solutions社は2015年1月にMicrosoftとの間でオムニチャネルソリューションにおける協業に合意しました。

これまでのIBMとの連携に加え、TCxGravity™ powered by Microsoft Dynamicsにより専門店からスーパーマーケットまで、あらゆる業態をカバーしたオムニ

チャネルソリューションを提供してまいります。既にIBMとの連携により大手小売業からの受注を実現しておりますが、Microsoftのプラットフォームを活用することにより、グローバル市場でのオムニチャネルソリューションの更なる拡販を図ります。

併せてソフトウェア・ハードウェア・プロフェッショナルサービスから保守まで一貫してグローバルで提供する体制を拡充し、小売業のみならずホスピタリティ・オフィス・公共機関等へのソリューション提供も強化推進してまいります。

CLOSE UP

## 新興国地域での販売体制強化

当社は今後も成長が期待される新興国地域での販売をさらに強化するため、マレーシア、タイでのMFP販売を主要事業とする大手販売代理店Tele Dynamics社の当該事業を2015年4月1日付けで買収いたしました。今後は「東芝テックマレーシア社」として同地域における活動を展開していきます。

当社は東南アジア地域において念願の販売現地法人を新

設することで、マレーシア、タイを中心にMFP事業の拡大を図るとともに、競合他社にない商品ラインナップであるPOS、オートID事業の拡大もはかります。新興国地域における当社プレゼンスは中国でのMFP事業等、総じて高いものがありますが、一般の現地法人設立を契機に、顧客接点を増やしソリューションビジネスを強化することでお客様の高い期待に応えてまいります。

## 会社概要

### ▶ 会社概況 (2015年3月31日現在)

商 号 **東芝テック株式会社**  
TOSHIBA TEC CORPORATION

設 立 1950年2月21日

本店所在地 東京都品川区大崎1-11-1  
(ゲートシティ大崎ウエストタワー)

連結子会社 国内:9社/海外:77社

資本金 39,970百万円

従業員数 連結:20,580名/単独:3,422名

発行済株式総数 288,145,704株

自己株式数 13,561,637株

株主数 10,516名

### ▶ 役員状況 (2015年7月13日現在)

#### 取締役及び監査役

代表取締役社長 池田 隆之 (社長執行役員)

取締役 山本 雅人 (専務執行役員)  
市原 一征 (専務執行役員)  
平田 政善 (常務執行役員)  
丹黒 浩 (常務執行役員)  
松本 敏史 (常務執行役員)  
坂邊 政継 (常務執行役員)  
下光 秀二郎 \*1

監査役 池田 浩之 [常勤]  
川澄 晴雄 [常勤]  
大内 猛彦 \*2,\*3  
松本 俊彦 \*2

### 当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの 情報をご覧いただけます。

#### ● 投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

#### ● 社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。また、CSR報告書等も掲載しています。



<http://www.toshibatec.co.jp/>

#### 執行役員 (取締役兼務者を除く)

常務執行役員 谷嶋和夫  
執行役員 川崎順一、麻生伸一、野波英隆、  
川村悦郎、松木幹一郎、鈴木道雄、  
日吉武司、内山昌巳、山口直大

\*1 社外取締役であります。

\*2 社外監査役であります。

\*3 東京証券取引所の定める独立役員であります。

#### 株式事務に ついての ご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 定時株主総会関係/3月31日 期末配当関係/3月31日 中間配当関係/9月30日  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

注記 (1)記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(2)事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。

(3)業績予想及び配当予想については、2015年6月16日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## TOPICS

### デスクトップラベルプリンタ[B-FV4D]が ドイツのデザイン賞iF Design Awardを受賞

#### 受賞理由

- 革新的で機能的なデザインが高く評価されました。
- コンパクトで頑強な筐体を持ち、低コストで環境に優しいプリンティングソリューションを実現しています。

